

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference 1583	FOR FURTHER ACTION		See item 4 below
International application No. PCT/JP2004/009358	International filing date (<i>day/month/year</i>) 25 June 2004 (25.06.2004)	Priority date (<i>day/month/year</i>) 27 June 2003 (27.06.2003)	
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237			
Applicant KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD.			

1. This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).

2. This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.

In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.

3. This report contains indications relating to the following items:

<input checked="" type="checkbox"/> Box No. I	Basis of the report
<input type="checkbox"/> Box No. II	Priority
<input checked="" type="checkbox"/> Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability
<input type="checkbox"/> Box No. IV	Lack of unity of invention
<input checked="" type="checkbox"/> Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement
<input type="checkbox"/> Box No. VI	Certain documents cited
<input type="checkbox"/> Box No. VII	Certain defects in the international application
<input type="checkbox"/> Box No. VIII	Certain observations on the international application

4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis .2).

<p>The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland</p> <p>Facsimile No. +41 22 740 14 35</p>	<p>Date of issuance of this report 03 January 2006 (03.01.2006)</p> <p>Authorized officer Masashi Honda Telephone No. +41 22 338 70 10</p>
--	---

BEST AVAILABLE COPY

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際調査機関）

出願人代理夫
協和醸酵工業株式会社

あて名

〒 100-8185
東京都千代田区大手町一丁目 6 番 1 号

様

PCT	RECEIVED 24 SEP 2004
国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) PO PCT [PCT規則43の2.1]	

21. 9. 2004

出願人又は代理人 の番類記号 1583	今後の手続きについては、下記 2 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/009358	国際出願日 (日.月.年) 25. 06. 2004	優先日 (日.月.年) 27. 06. 2003
国際特許分類 (IPC) Int. C17 A61K31/522, A61P25/08//C07D473/06, 473/12		
出願人 (氏名又は名称) 協和醸酵工業株式会社		

1. この見解書は次の内容を含む。

- 第 I 欄 見解の基礎
- 第 II 欄 優先権
- 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
- 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
- 第 V 欄 PCT 規則43の2.1(a) (i) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- 第 VI 欄 ある種の引用文献
- 第 VII 欄 国際出願の不備
- 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関が PCT 規則66.1の2(b) の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式 PCT/ISA/220 を送付した日から 3 月又は優先日から 2 月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式 PCT/ISA/220 を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式 PCT/ISA/220 の備考を参照すること。

見解書を作成した日

07. 09. 2004

名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 中木 亜希	4 P	9282
電話番号 03-3581-1101 内線 3492			

様式 PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/009358

第I欄 見解の基礎

1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

この見解書は、_____語による翻訳文を基礎として作成した。
それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
以下に基づき見解書を作成した。

a. タイプ

配列表
 配列表に関連するテーブル

b. フォーマット

表面
 コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期

出願時の国際出願に含まれる
 この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された

3. さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. 添足意見：

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/009358

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

国際出願全体
 請求の範囲 6

理由：

この国際出願又は請求の範囲 6 は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

請求の範囲 6 は、治療による人体の処置方法に関するものである。

明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

全部の請求の範囲又は請求の範囲 が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

請求の範囲 6 について、国際調査報告が作成されていない。

ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が	<input type="checkbox"/> 提出されていない。
コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が	<input type="checkbox"/> 所定の基準を満たしていない。
	<input type="checkbox"/> 提出されていない。
	<input type="checkbox"/> 所定の基準を満たしていない。

コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関するテーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

<input type="checkbox"/> 提出されていない。
<input type="checkbox"/> 所定の技術的な要件を満たしていない。

詳細については補充欄を参照すること。

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/009358

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 3 - 5	有
	請求の範囲 1, 2, 7	無

進歩性 (I S)	請求の範囲 3 - 5	有
	請求の範囲 1, 2, 7	無

産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 1 - 5, 7	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明

1. European Journal of Pharmacology, 1993, Vol. 242, No. 3, p. 221-228
2. European Journal of Pharmacology, 1999, Vol. 371, No. 2/3, p. 137-145
3. WO 92/06976 A1

請求の範囲 1, 2, 7

文献1には、8-シクロペニチル-1, 3-ジメチルキサンチン(CPT)が抗痙攣作用を有していることが記載されており、ここで、CPTは本願の式(I)の化合物に相当し、また、抗痙攣剤はてんかんの予防や治療に用いられるので抗てんかん剤に他ならない。

以上から、本願請求の範囲1, 2及び7に記載された発明は、文献1により新規性及び進歩性を有しない。

請求の範囲 3 - 5

文献1及び2には、アデノシンA₂受容体アゴニストが抗痙攣作用を有していることが記載されている。

一方、文献2及び3には、8-スチリルキサンチン誘導体(本願式(I)においてR⁴が式(I I)である化合物)がアデノシンA₂受容体アンタゴニストであることが記載されている。

そして、文献1-3の記載を考慮しても、アデノシンA₂受容体アンタゴニストである8-スチリルキサンチン誘導体を抗てんかん剤に適用してみることが当業者にとって自明であったとは認められない。

以上から、本願請求の範囲3-5に記載された発明は、文献1-3に対して新規性及び進歩性を有する。